

---

---

## ヘルスアセスメント

岩 根 直 美 准教授  
坂 本 由希子 准教授  
大 西 修 平 助教  
野々口 陽 子 助教  
米 島 望 助教

1 年次後期・必修

1 単位・30 時間

---

---

### 【概要・目標】

対象者の健康状態をアセスメントするための基礎的知識とアセスメントテクニックを学ぶ。アセスメントテクニックとしては、問診、視診、触診、打診、聴診、測定器具を用いた方法を学ぶ。さらに、生理的側面と心理・社会的側面の関係をふまえ、収集した情報からのアセスメントの方法を学ぶ。

- 1) 対象者の健康状態をアセスメントするための全身の系統的見方がわかる。
  - 2) 問診、視診、触診、聴診、打診、測定器具を用いた方法を用い必要な情報を得ることができる。
  - 3) 得られた情報から、その意味を考えることができる。
  - 4) 判断のために必要な情報を考えることができる。
- 

### 【授業内容のスケジュール】

- 1) ヘルスアセスメントとは
  - 2) ～6) バイタルサインズのアセスメント(講義と演習)
    - ・呼吸・循環(血圧・脈拍)・体温
  - 7) ～9) フィジカルアセスメントテクニック(講義と演習)
    - ・問診・視診・触診・打診・聴診
    - ・身体各部の計測
  - 10) ～11) 事例患者のフィジカルアセスメント
  - 12) 食事と栄養に関するアセスメント
  - 13) 排泄に関するアセスメント
  - 14) 意識障害と神経系のアセスメント
  - 15) まとめ
- 

### 【評価】

筆記試験(80%)、提出物(10%)、授業への出席状況および参加状況(10%)

---

### 【教科書】

1. 深井喜代子編「新体系看護学全書 専門分野 I 基礎看護学 基礎看護技術 1」メヂカルフレンド社 \*教科書 1 は 2 年次必須科目 ; 「看護方法論 II (看護過程)」にて引き続き使用する
  2. 医療情報科学研究所 編「フィジカルアセスメントがみえる」メディックメディア
- 

### 【推薦参考図書】

- ・阿部幸恵「症状別病態生理とフィジカルアセスメント」照林社
  - ・松尾ミヨ子他編「ナーシング・グラフィカ 基礎看護学② ヘルスアセスメント」第 5 版 メディカ出版
- 

### 【その他】

学習サポート

実習室において、自己学習と技術指導を受けることができます。(曜日などの詳細は別途)